

．．．．．スマートにプログラミング

## Android 入門編 第2版 SDK4/2.3 対応

### よくあるご質問 (FAQ)

ここでは、読者の皆様から寄せられた質問の中で、比較的多く見受けられたトラブル事例とその解決策を集め掲載致しました。お困りの際の解決のヒントとしてご利用下さい。

株式会社リックテレコム

書籍出版部

(情報更新日：2012.8.13)

### index

- [ソースコードをインポートすると文字化けが起きる。](#) (関連箇所：「0-1 はじめに」)
- [Eclipse が日本語化されない。](#) (関連箇所：「2-2 Eclipse のインストール」)
- [Eclipse が起動しない。](#) (関連箇所：「2-2 Eclipse のインストール」)
- [ADT \(Android Development Tools\) のダウンロードがうまくいかない。](#) (関連箇所：「2-4 ADT のインストール」)
- [「Android Project」が見あたらない。](#) (関連箇所：「3-2 最初のアプリケーション」)
- 掲載内容の誤記等について

下記の URL のサイトをご参照下さい。

<http://www.ric.co.jp/book/error/error895.html>

この他にも、本書の著者が所属する Tech Fun 社のサイトに、プログラミング環境を構築するにあたって、初心者が陥りやすい様々なケースに対し丁寧にアドバイスをしたコーナーがあります。

<http://techfun.cc/techinf/setup/android>

環境構築にあたってわからない所が出てきたら、こちらの方も参照してみてください。

## サンプルソースの文字化けについて

### [トラブル事例]

Eclipse に、ダウンロードしたソースコードをインポートすると文字化けが起きる。

(関連箇所：「0-1 はじめに」)

### [回答]

本書でその利用を前提としております Tech Fun Eclipse は、ソースコードにつきましては **SJIS(MS932)** で、XML ファイルなどは UTF-8 で生成するようにデフォルトが設定されております。したがって、ダウンロードサイトにあるサンプルソースも SJIS による記述となっております。

純正の Eclipse で取り扱うソースコードも、SJIS がデフォルトとなっているので、文字化け等の問題は起こさないと考えられます。

ただし、純正 Eclipse をカスタマイズした一部のツール（Pleades の 3.7 Indigo 等）では、ソースコードのデフォルトには、**UTF-8** が設定されているケースがありますので、文字化けを起こす場合があります。その場合は、一定以上の機能を有するテキストエディタ等により、サンプルソースの文字コード規格を UTF-8 に変更の上ご利用下さい。具体的には保存のときに、文字コードが指定できますので、そこで変更するようにします。あるいは、いったんエディタにインポートした後に、ソースの上を右クリックしてプロパティを開き、文字コードの設定を変更することもできます。

なお、本書の記載は Tech Fun Eclipse を元に動作を確認しております。Pleades のようなカスタマイズ Eclipse 上で本書の内容を再現した場合、上記のような文字化けの現象や何らかのエラーが発生する可能性があります。本書の記載手順に則って Android の学習を進める場合は、Tech Fun Eclipse のご利用を推奨致します。

[\[目次\] に戻る。](#)

## Eclipse が日本語化されない

### [\[トラブル事例\]](#)

**書籍の手順通りに行ったが、Eclipse が日本語化されない。**

(関連箇所：「2-2 Eclipse のインストール」)

### [\[回答\]](#)

Windows Vista や Windows 7 はセキュリティが厳しいため、Eclipse 起動時に管理者権限で起動しないと、日本語化ファイルが読み込まれないことがあります。

Eclipse のアイコンをダブルクリックする前に、右クリックで「管理者で実行」とすると日本語になると思いますので、お試しください。

[\[目次\] に戻る。](#)

## Eclipse が起動しない

### [トラブル事例]

**Eclipse はインストールできたが、起動するとエラーが発生し動かない。**

(関連箇所：「2-2 Eclipse のインストール」)

### [回答]

JDK (Java Development Kit) は、Oracle が配布している公式のもの以外のものがインストールされておりその影響かもしれません。

最近では、PC 購入時、もしくはそのあとにインストールしたソフトウェアに自動的に Java を動作する JRE が組み込まれていることがあり、気付かないうちにインストールされていることがあります。

こちらの PC では、しかも 32bit と 64bit が両方インストールされているようです。

このような環境の場合、設定ファイルを修正する必要があります。

以下のパスで示すファイルを修正前にバックアップとしてコピーし任意のフォルダに保存してから、テキストエディタで開いて作業を始めてください。

C:\Programing Files(X86)\TechFun\TechFun-Eclipse\_3.5.1\eclipse.ini

ファイルを開くと次のような設定がされています。

\*\*\*\*\*変更前

```
-startup
plugins/org.eclipse.equinox.launcher_1.0.201.R35x_v20090715.jar
--launcher.library
plugins/org.eclipse.equinox.launcher.win32.win32.x86_1.0.200.v20090519
-product
org.eclipse.epp.package.jee.product
--launcher.XXMaxPermSize
256M
--launcher.XXMaxPermSize
256m
-pluginCustomization
techfun.ini
-vmargs
-Dosgi.requiredJavaVersion=1.5
-Xms40m
-Xmx512m
```

\*\*\*\*\*

このファイルの-vmargs の上に追加設定をします。

\*\*\*\*\*変更後

```
-startup
plugins/org.eclipse.equinox.launcher_1.0.201.R35x_v20090715.jar
--launcher.library
plugins/org.eclipse.equinox.launcher.win32.win32.x86_1.0.200.v20090519
-product
org.eclipse.epp.package.jee.product
--launcher.XXMaxPermSize
256M
--launcher.XXMaxPermSize
256m
-pluginCustomization
techfun.ini
-vm                                ←ここに追加
C:\Program Files(x86)\Java\jdk1.6.0_26\bin\javaw.exe    ←ここに追加
-vmargs
-Dosgi.requiredJavaVersion=1.5
-Xms40m
-Xmx512m
```

\*\*\*\*\*

追加する 2 行目の設定ですが、「jdk1.6.0\_26」はバージョンが異なることもありますので、念のためこのディレクトリの中を確認して、存在するバージョン番号を指定してください。

この設定ファイルは、Eclipse を起動するのに重要なファイルですので、バックアップを必ず保存しておき、動作しないようでしたら、いったん元の状態に戻したほうがいいでしょう。

[\[目次\] に戻る。](#)

## 「Android Project」が見あたらない。

### [トラブル事例]

62 頁には次の表記となっている（本文上から 3 行目）。

「その他」を選択すると「ウィザードを選択」のダイアログが表示されますので、「Android」→「Android Project」を選択します（図 3.2.3）。

操作手順通りにやっても「Android Project」が見あたらない。

（関連箇所：「3-2 最初のアプリケーション」）

### [回答]

2012 年 6 月に更新された Android SDK のアップデートにより、次のような手順に変わっております。なお、以下に示す情報とほぼ同等の内容は、著者の社のサイトの下記の URL の頁にも掲載されております。ご参照下さい。

<http://techfun.cc/android/firstandroid1.html>

まず、メニューの「ファイル」→「新規」→「その他」を選択します（図 a）。

図 a

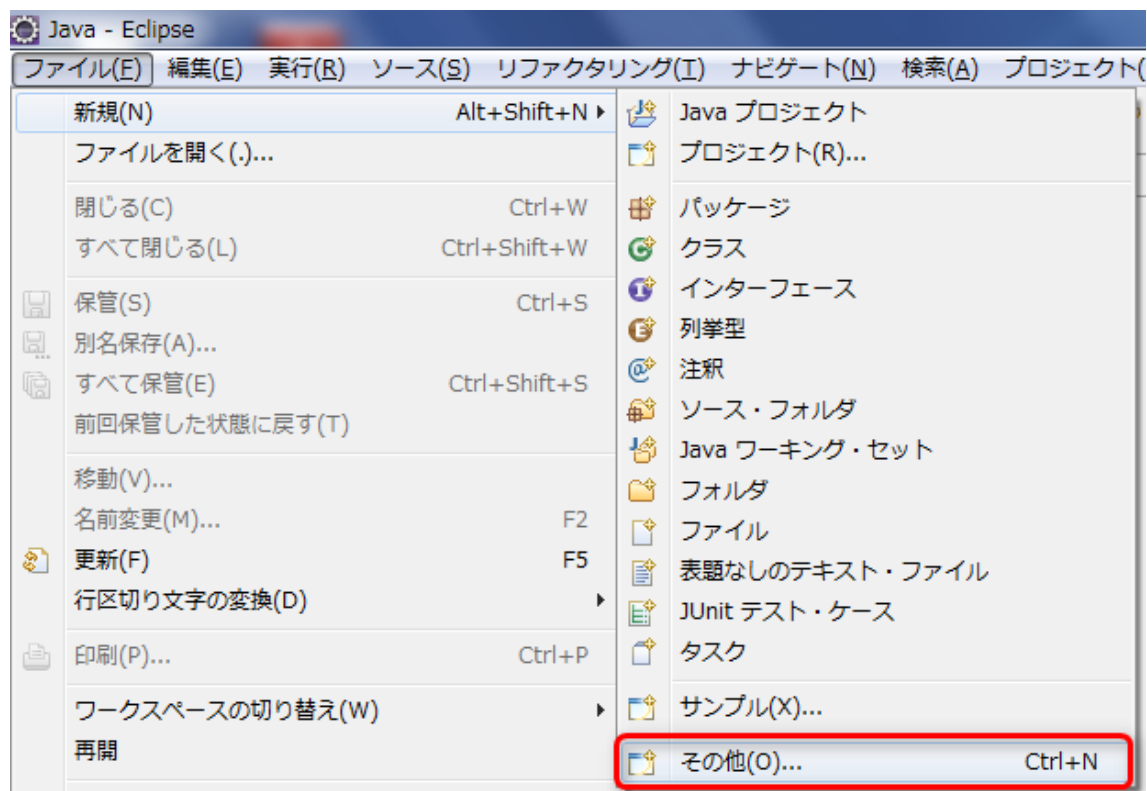
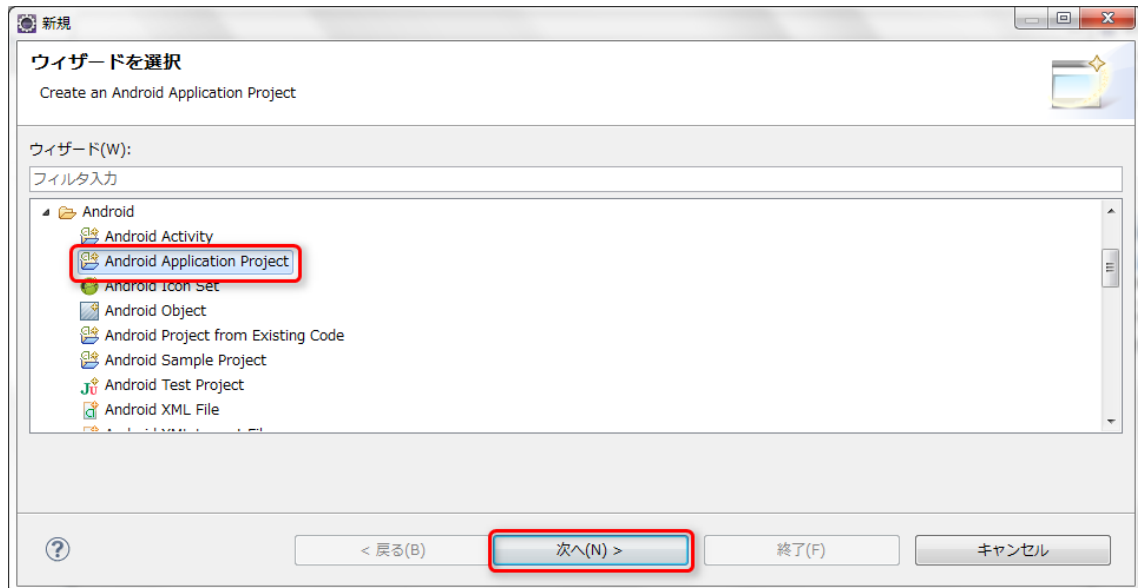


図 b に示すような画面が出てきますので、「Android」の「**Android Application Project**」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

図 b



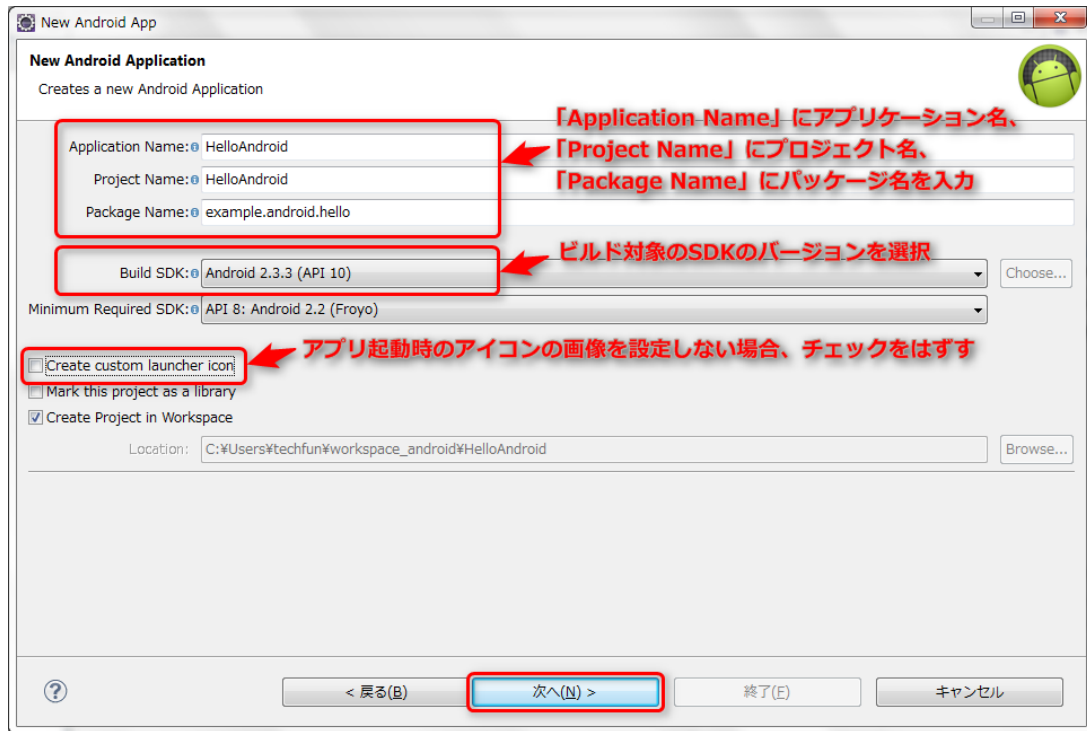
新規のプロジェクトを作成する画面（図 c）が表示されます。

「Application Name:」と「Project Name:」に「HelloAndroid」、 「Package Name:」に「example.android.hello」と入力します。

「Build SDK:」は、開発対象の SDK のバージョンを選択します。

また、アプリケーションのアイコン画像を後で設定する場合、「Create custom launcher icon」のチェックをはずし、「次へ」ボタンをクリックします。

図 c



各設定項目の一覧を表 1 に示します。

表 1

設定項目名	説明
Application Name:	アプリケーション名
Project Name:	プロジェクト名(ワークスペース内にプロジェクトとして表示)
Package Name:	パッケージ名(最初に動作するプログラムのパッケージ)
Build SDK:	開発に使用する Android SDK バージョン
Minimum Required SDK:	動作するために必要な最低限の Android SDK バージョン
Create custom launcher icon	起動用アイコン画像を設定するか否か (チェックを入れるとアイコン画像設定画面が次に表示)
Mark this project as a library	このプロジェクトをライブラリとするか否か
Create Project in Workspace	プロジェクトをワークスペースに作成するか否か

図 c の画面で設定が済み、「次へ」を押すと「図 d」の画面になります。「Create Activity」にチェックし、「BlankActivity」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



図 d

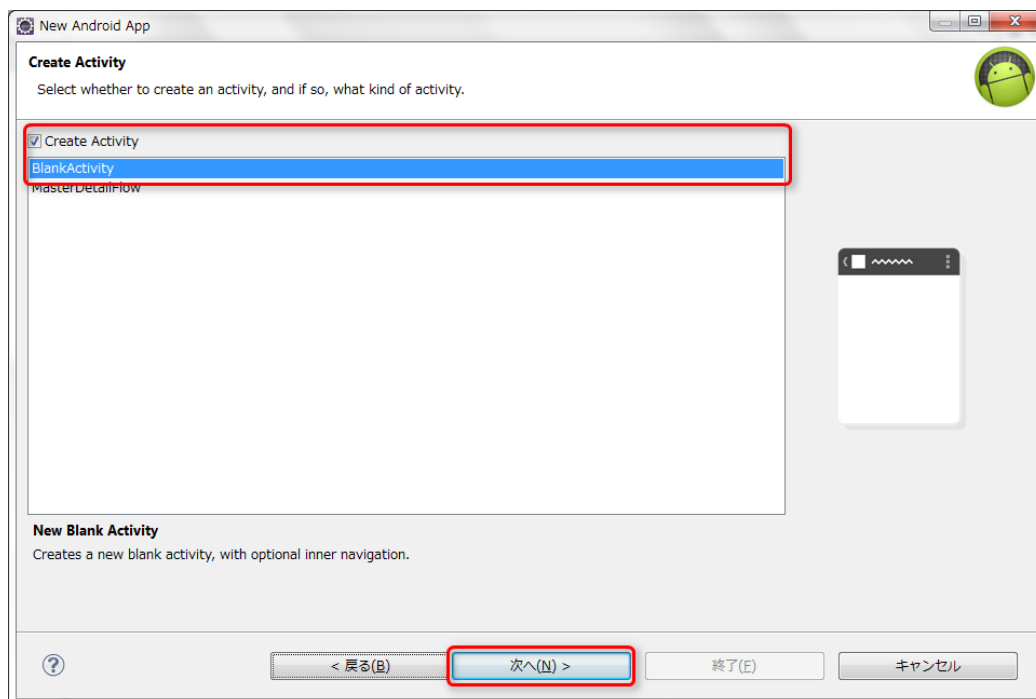
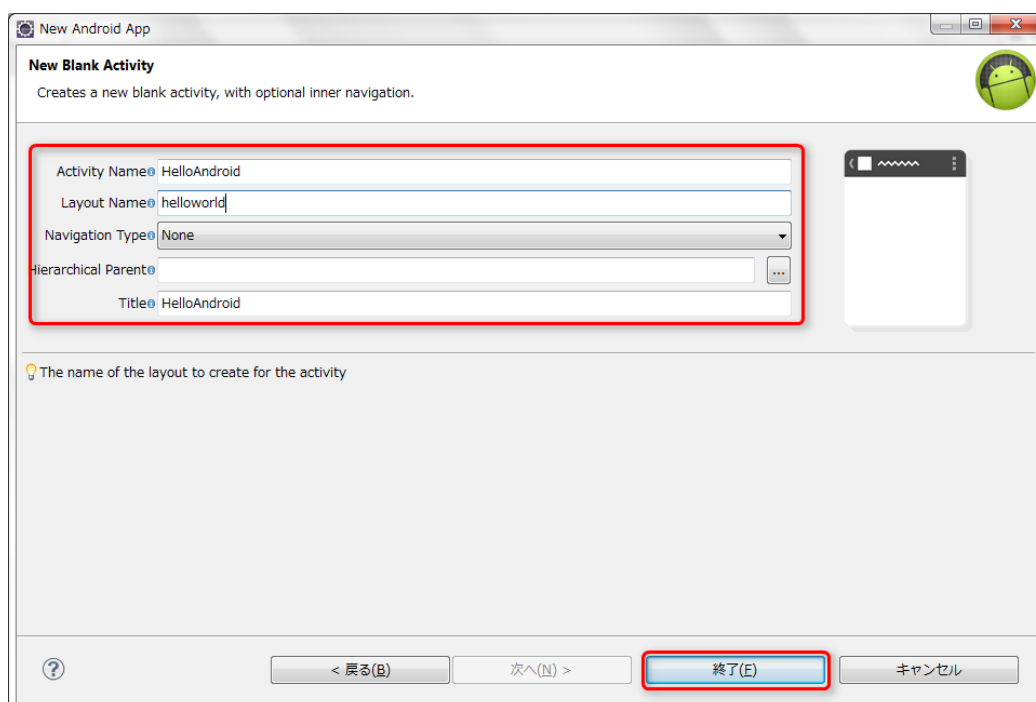


図 e の画面が出てきます。

「Activity Name」に「HelloAndroid」、「Layout Name」に「helloworld」、「Navigation Type」に「None」、「Title」に「HelloAndroid」を入力し、「終了」ボタンをクリックします。

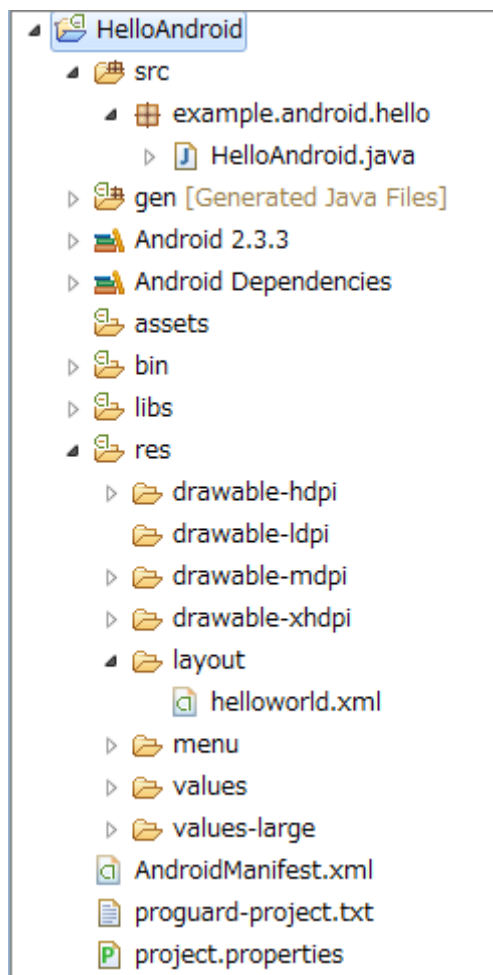
図 e



これで新規の Android プロジェクトの作成は、完了です。

最後に Eclipse のパッケージエクスプローラに、作成したプロジェクトが図 f のように追加されたことを確認しましょう。

図 f



[\[目次\] に戻る。](#)